

取扱・施工説明書 TAKIZUMI

保管用

【Ch1】

シーリングファン

取説No. CF-7-24
品番 TFR-6529

この度はタキズミ照明器具を、お買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前にこの「取扱説明書」をよくご覧のうえ正しくご使用ください。

安全上のご注意

安全に関する重要な内容ですのでよくお読みのうえ、必ずお守りください。誤った使用をした場合、事故等により使用者が重傷を負う危険があるものを『△警告』の欄に又、障害を受けたり物的損害の発生が想定されるものを『△注意』の欄にまとめてあります。必ず、ご使用時にいつでも読む事ができるところに保管してください。

△ 警告 CH1

 水ぬれ禁止	■この器具は非防水です。浴室や屋外などの湿気、水気の多い場所での使用はできません。 ◇火災や感電 絶縁不良の原因となります。	 必ず守る	■器具の取付・電源の接続は、器具本体表示、本取扱説明書に従って確実に行ってください。 ◇取付け、接続に不備があると、落下・損傷・過熱の原因となります。
 禁止	■器具をシンナーやベンジンなどの揮発性のものでふいたり殺虫剤をかけたりしないでください。また、油（油煙のあがる場所など）ホコリの多い場所や、薬品（酸、アルカリ）を使う場所には取付けしないでください。 ◇火災や感電、変形、割れ、変質により落下の原因となります。 ■ランプ交換、お手入れの際は必ず電源を切ってから行ってください。◇感電の原因となります。 ■振動や衝撃の大きい場所には取付けしないでください。 ◇落下してけがのおそれがあります。		■器具の取付は器具重量に耐える場所为本取扱説明書に従って確実に行ってください。 ◇取付けに不備があると落下やけがの原因となります。
 分解禁止	■器具を改造又は部品を変更して使用しないでください。 ◇感電や火災の原因となります。		■配線器具の取付工事が必要な場合は、必ず工事店電気店(有資格者)に依頼してください。 ◇一般の方の工事は法律で禁止されています。
 注意	■器具や羽根、ランプを布や紙等で覆ったり燃えやすい物を近づけたりしないでください。 ◇火災、損傷、過熱、故障、変形の原因となります。 ■器具の下には暖房器具、ガス器具、ストーブなどの高温のものを置かないでください。 ◇火災、損傷、加熱、故障、変形の原因となります。 ■ガスレンジなどの炎の近く、引火性のガスのある場所には取付けしないでください。 ◇火災、損傷、加熱、故障、変形の原因となります。		■器具1台に対し、必ず壁スイッチ1個を単独で接続してください。 ◇1つの壁スイッチで2台以上のリモコン付シーリングファンを取付けると、ランプ点灯の誤動作の原因となります。 ■ランプ交換、お手入れの際は必ず電源を切ってから行ってください。（お手入れの際は、安定した台などを用意してください。） ◇感電の原因となります。 ■異常な振動、煙や臭い等の異常を感じたら速やかに電源を切ってください。（電気店又はお買上げ店にご相談ください。） ◇感電、火災の原因となります。 ■羽根が回っている時は絶対に手で触れたり、棒等を差し込んだりしないでください。 ◇器具が落下や破損して、けがのおそれがあります。 ■器具本体にぶらさがらないでください。 ◇落下や転倒して、けがのおそれがあります。

△ 注意

 禁止	■電球はガラス製品ですので落としたり、物をぶつけたり無理な力を加えたりしないでください。 ◇電球が破損し、けがの原因となります。 ■器具や電球に着色等をしないでください。 ◇損傷・過熱・故障の原因となります。 ■白熱用調光器（コントローラ）は使用できません。 ◇器具や調光器の損傷 過熱 故障の原因となります。	 注意	■点灯・掃除時には、接合部・電球のゆるみ・破損がないかを確認してください。 ◇異常がありましたら、購入店にご相談ください。
 接触禁止	■点灯中や消灯直後の器具やランプは高温になっておりますので手を触れないでください。 ◇やけどの原因となります。		■この器具は屋内専用で5～35℃の温度の範囲内で使用してください。 ◇低温では点灯しにくくなったり、また高温では過熱により、損傷の原因となります。
 注意	■万一、羽根が壊れたときはすべての羽根を取替えてください。 ◇異常振動により、落下してけがのおそれがあります。 ■風を長時間、体にあてないでください。 ◇健康を害することがあります。		■寒暖の激しい場所での使用はしないでください。 ◇感電、絶縁不良、ランプ破損、器具内部の結露の原因になります。 ■羽根の回転方向を変えるときは、完全に回転を止めてから切替えてください。 ◇モーターの故障の原因となります。 ■点灯中及び消灯後にきしみ音が発生する場合がありますが異常ではありません。 ◇熱による構成材料の収縮音です。

お手入れについて

■安全に使用していただくために定期的（6カ月に1回程度）に清掃および点検を行うことをおすすめします。不具合な点および異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。器具の汚れは柔らかい布に中性洗剤を浸しよく絞ってからふいてください。注意：羽根に強い力を加えたりして、羽根の先端の高さを変えないでください。（本体の横揺れ振動の原因になります。また、お手入れのまえに、壁スイッチまたは、ブレーカーを「切」に必ずしてください。（水洗いは絶対にしないでください。）

■品番・製造年月は器具銘板に記載されています。ランプの種類は器具銘板及び定格欄をご確認ください。交換用のランプは器具の指定のものを必ずご使用ください。

ファン 定格	照明器具 品番 TFR-6529	品番
電球名称	TAKIZUMI 100V 入力電流0.34/0.43A 消費電力26.8/36.1W 50/60Hz 照明器具 TAKIZUMI 100V 入力電流 3.0A 消費電力 300W 50/60Hz 普通電球 60W×5	照明器具 定格
	龍住電機工業株式会社 製造10.00.00 Made in Taiwan	10年製 製造年月

各部のなまえ

⊘ 必ず電源を切ってください。（一部姿図を省略しております。）

⚠ 部品の有無・損傷を確認しおこなってください。（不備のある場合は取付けないでください。）

〈品番〉

TFR-6529

取付プレート

落下防止ワイヤー

引掛シーリング
キャップ

ファン本体

本体回転板

コネクタA

アーム取付ネジ：10本

本体回転板に仮固定
されています。

ファン本体取付ネジ：4本

取付プレートに仮固定
されています。

照明器具本体取付ネジ：3本

ファン本体に仮固定
されています。

羽根取付用ネジ：15本

羽根：5枚

ゴムパッキン：5枚

本体回転板に仮固定
されています。

羽根固定
アーム：5個

リモコン受光部
(2ヶ所)
CH1

ソケット

ガラスセード

ソケットリング

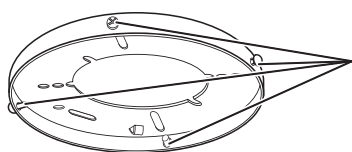
照明器具本体

セードは手作り品、天然素材の
ため寸法および色合い、模様が
多少異なる場合があります。

電球

付属部品について

⚠ 部品の有無・損傷を確認しおこなってください。（不備のある場合は取付けないでください。）



取付プレート：1 個

ファン本体取付ネジ：4 本

取付プレートに仮固定
されています。



下記の部品は
取付プレートに
テープで貼り付けて
あります。



ワッシャ：2 個



スプリング
ワッシャ：2 個



取付用
ネジ長：2 本



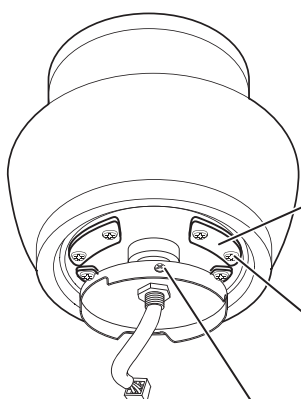
ワッシャ：2 個



スプリング
ワッシャ：2 個



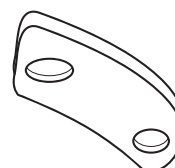
取付用
ネジ短：2 本



ファン本体：1 個

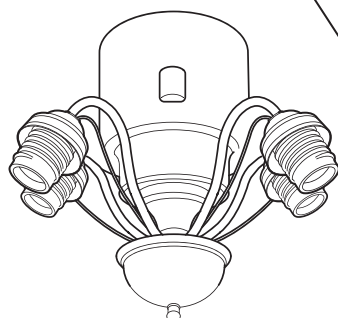
ゴムパッキン：5 枚

本体回転板に仮固定
されています。



アーム取付ネジ：10 本

本体回転板に仮固定
されています。



照明器具本体：1 個

照明器具本体取付ネジ：3 本

ファン本体に仮固定
されています。



ワッシャ：4 個



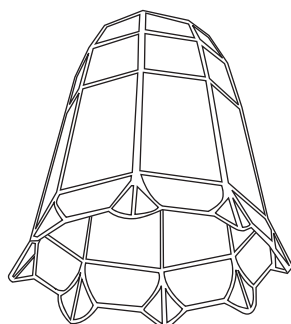
スプリング
ワッシャ：4 個



羽根固定アーム：5 個



羽根：5 枚



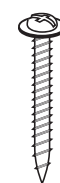
ガラスセード：5 個



電球：5 個



羽根取付ネジ：15 本



木ネジ：4 本

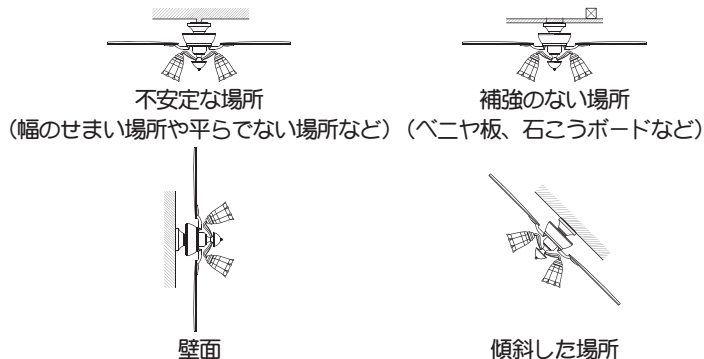
取付け前のご注意

● 次のような場所には取付できません。

- この器具は、天井取付専用器具です。
傾斜天井、壁面、補強のない
薄い場所には取付できません。
取付面の強度が弱い場合、天井補強を
行ってください。施工前に必ず天井補強の
確認を行ってください。取付に不備が
あると、火災、感電、落下によるけがの
原因となります。



禁止



注意

- 器具の取付は器具質量の約10倍の荷重に
耐える場所に本取扱説明書に従って確実に
行ってください。
- 天井補強の確認は、工務店にご相談ください。
- この器具は非防水です。浴室や屋外などの
湿気、水気の多い場所（蒸気の発生する場所
など）での使用はできません。
- 油（油煙のあがる場所など）ホコリの多い
場所や、薬品（酸、アルカリ）を使う場所
には取付けないでください。

器具質量：TFR-6529→約9.5kg

- 器具の下には暖房器具、ガス器具、ストーブなどの
高温のものを置かないでください。
- 器具1台に対し、必ず壁スイッチ1個を単独で
接続してください。
- 直射日光の当たる場所には取付けないでください。
樹脂部分の変色や変形、変質の原因となります。

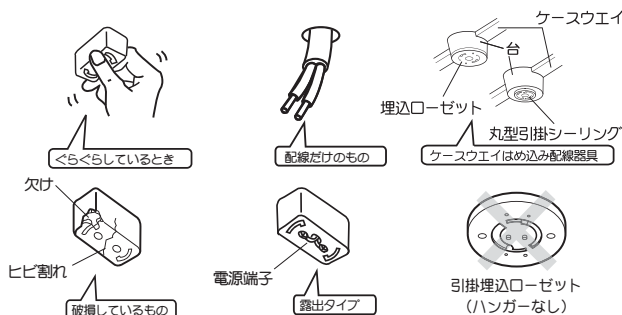
● 次のような配線器具には取付できません。

- 火災、感電、落下によるけがの
原因となります。
配線器具が次のような場合は工事店
電気店へ配線器具の交換を依頼して
ください。
(一般の方の電気工事は法律で
禁止されています。)



禁止

- 電源回路（壁スイッチ等）に調光器が
接続されている配線器具に本器具を
接続しないでください。
(器具や調光器の故障や
異常音の原因になります)



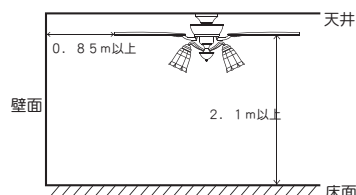
- 電源回路（壁スイッチ等）に調光器が接続されている
場合は、必ず調光器を交換してください。
調光器の交換工事は工事店、電気店へ交換を依頼して
ください。
(一般の方の電気工事は法律で禁止されています。)

● 天井に下図のいずれかの配線器具が工事されていれば取付けられます。



● 取付場所の確認

- 壁面から羽根の先端まで0.85m以上離してください。
風の影響で器具が振動する恐れがあります。
- 床面から羽根の先端まで2.1m以上離してください。
本品の場合、天井高は2.3m以上必要になります。



器具の取付けかた

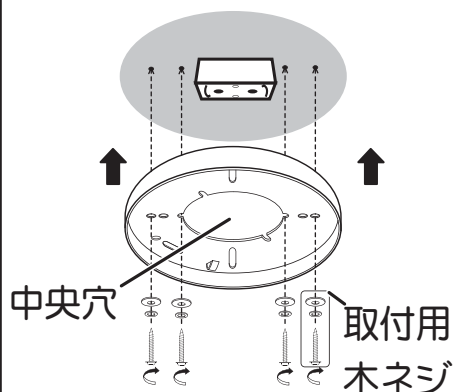
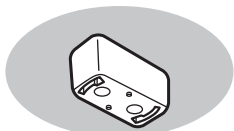
⊘ 必ず電源を切ってください。（一部姿図を省略しております。）

1 取付プレートを取付ける。



落下の原因となりますので、ハンガー取付用ネジ又は木ネジはしっかり取付けてください。

●角形引掛シーリングの場合

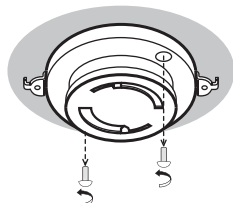
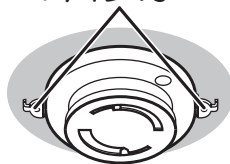


取付プレートの中央穴に引掛シーリングを合わせて付属の木ネジ4本でしっかり固定してください。

●フル引掛ローゼットの場合

※ローゼットのハンガーにネジが付いている場合、ネジを取りはずしてから器具を取付けてください。

※ハンガー

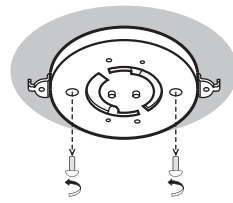
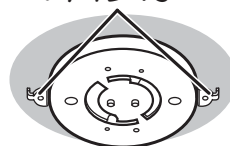


ローゼットの2本のネジを取りはずしてください。

●ハンガー付引掛埋込ローゼットの場合

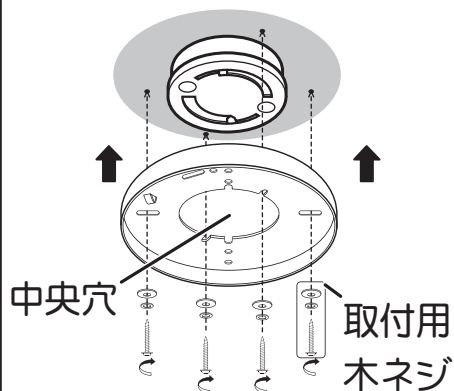
※ローゼットのハンガーにネジが付いている場合、ネジを取りはずしてから器具を取付けてください。

※ハンガー

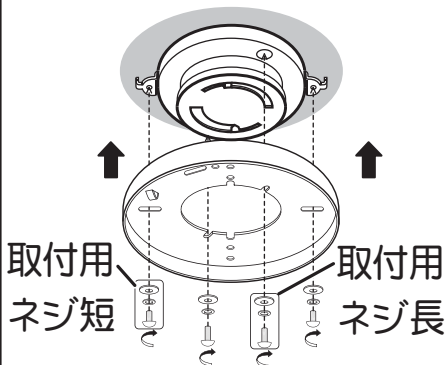


ローゼットの2本のネジを取りはずしてください。

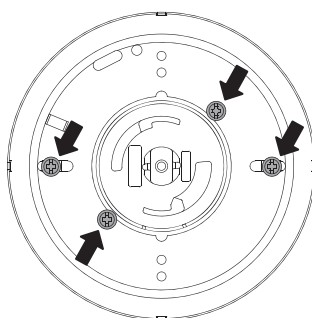
●丸形引掛シーリングの場合



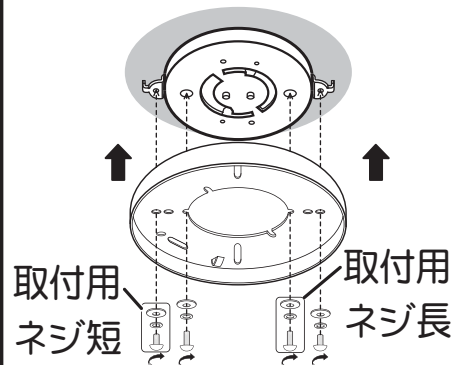
取付プレートの中央穴に引掛シーリングを合わせて付属の木ネジ4本でしっかり固定してください。



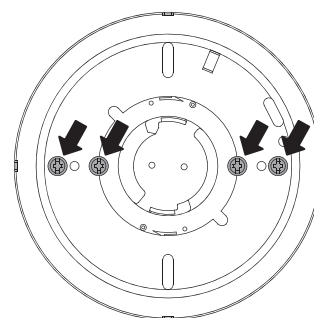
付属の取付用ネジ長、取付用ネジ短を使用して取付プレートを取付けてください。



(取付プレート取付け後の下から見た図)



付属の取付用ネジ長、取付用ネジ短を使用して取付プレートを取付けてください。



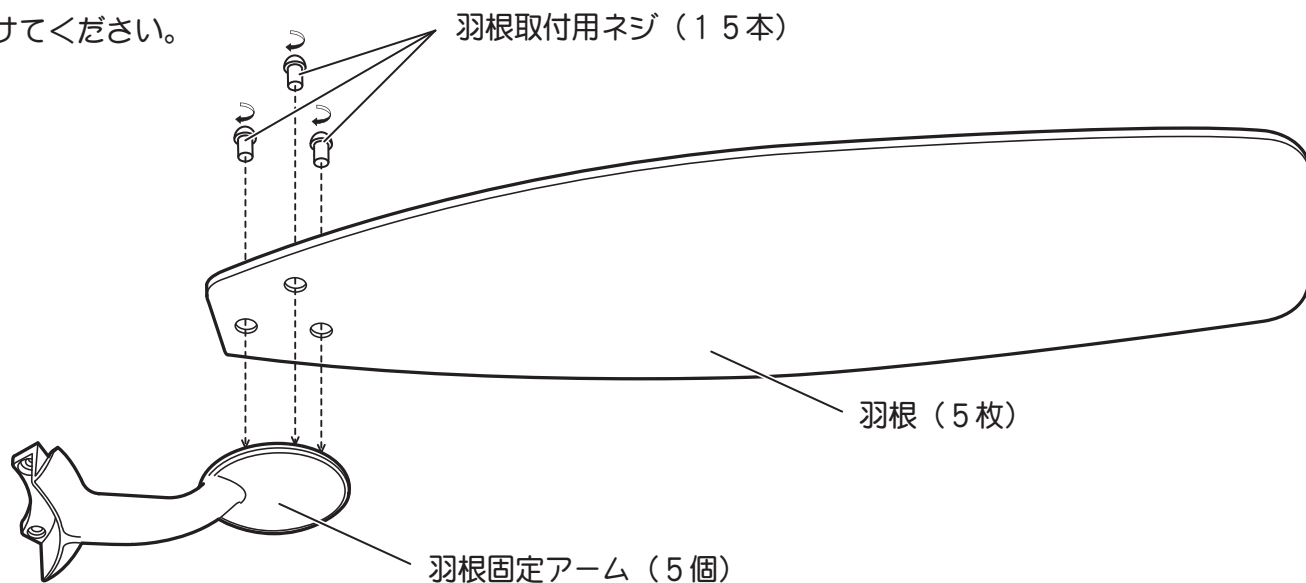
(取付プレート取付け後の下から見た図)

器具の取付けかた

⊘ 必ず電源を切ってください。（一部姿図を省略しております。）

2 羽根固定アームに羽根を取付ける。

付属の羽根取付用ネジで
羽根を羽根固定アームに
取付けてください。

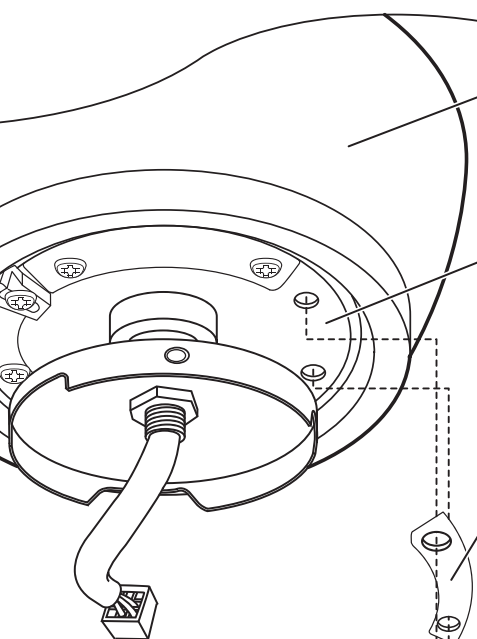


3 ファン本体から部品を取りはずす。

本体回転板に仮固定されている
アーム取付用ネジ10本
ゴムパッキン5枚
ストッパー3個を
取りはずしてください。



ストッパー：3個
ストッパーは取付に
使用しません。



ファン本体

本体回転板

ゴムパッキン：5枚
本体回転板に仮固定
されています。

取り
はずす

アーム取付用ネジ：10本
本体回転板に仮固定
されています。

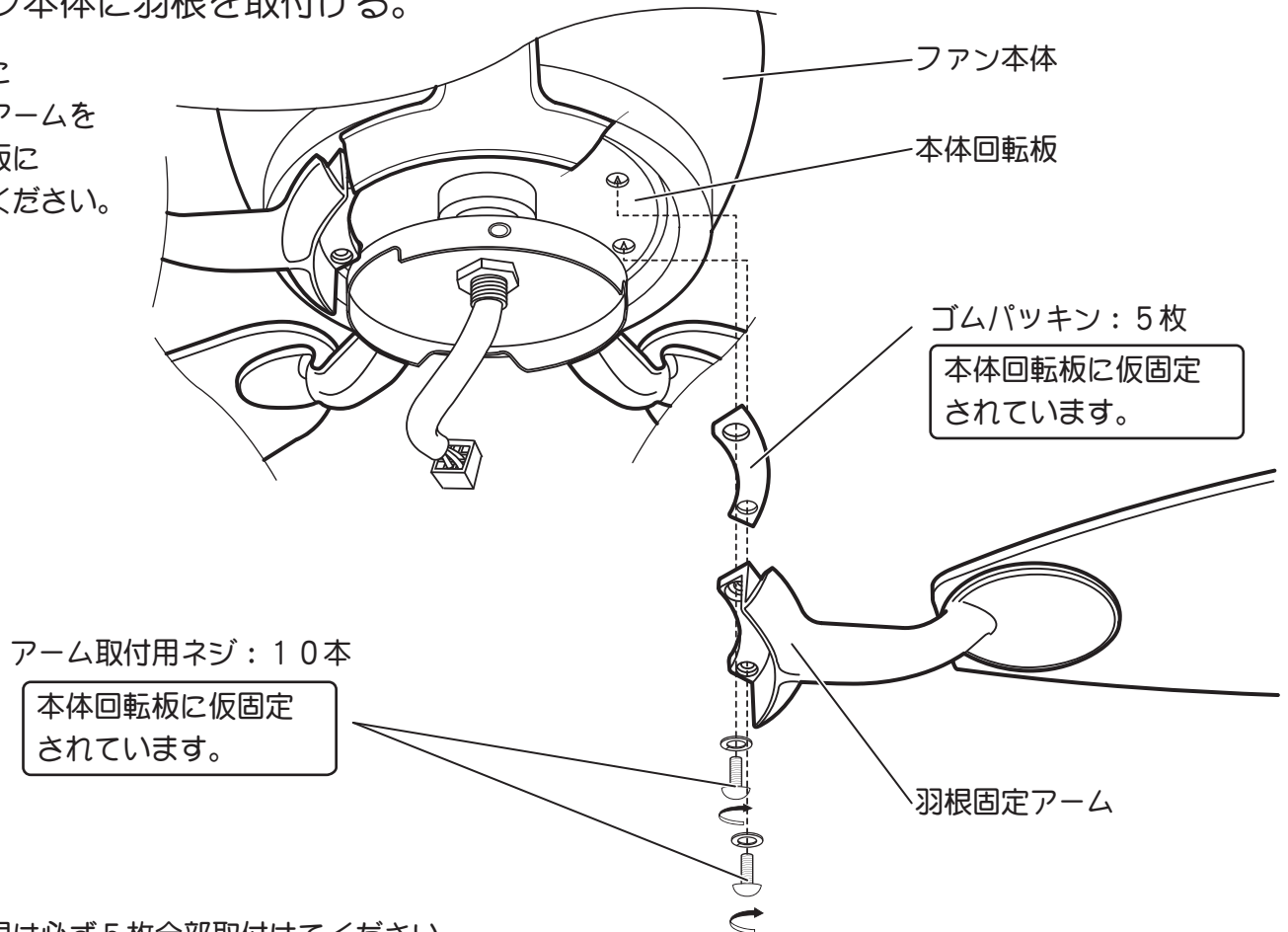
取り
はずす

器具の取付けかた

⊗ 必ず電源を切ってください。（一部姿図を省略しております。）

4 ファン本体に羽根を取付ける。

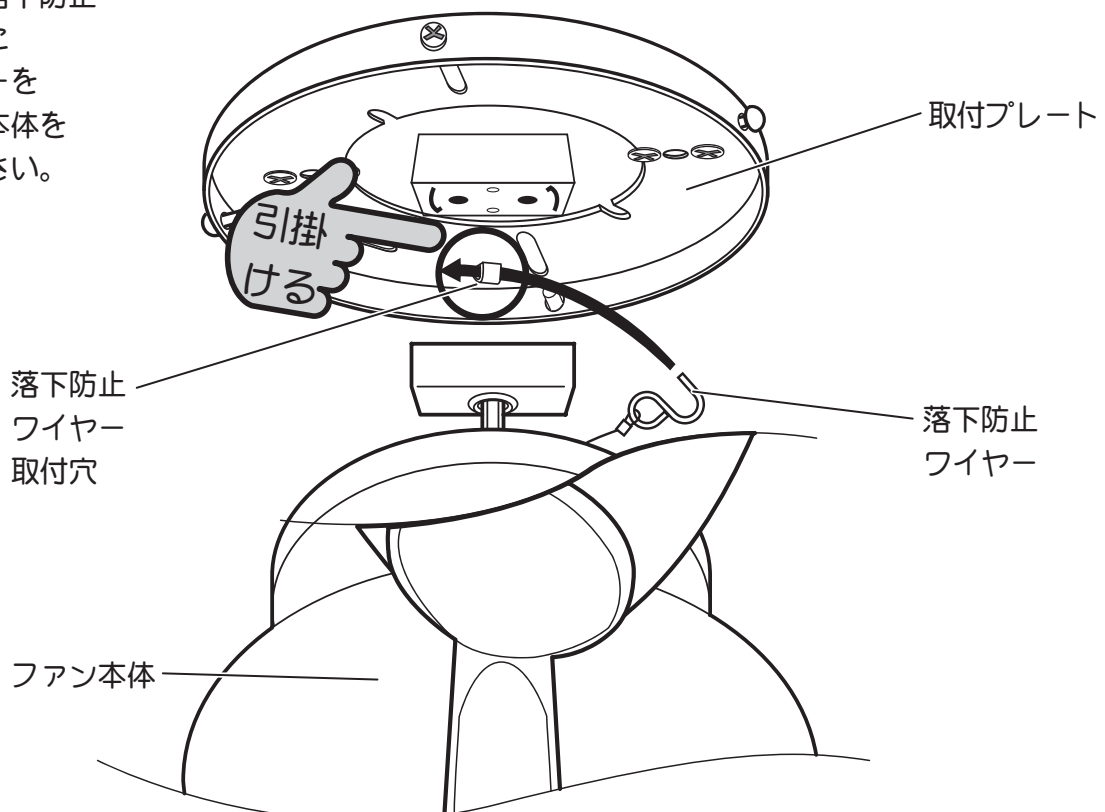
図のように
羽根固定アームを
本体回転板に
取付けてください。



注意：羽根は必ず5枚全部取付けてください。

5 取付プレートに落下防止ワイヤーを取付ける。

取付プレートの落下防止
ワイヤー取付穴に
落下防止ワイヤーを
引掛け、ファン本体を
仮吊りしてください。



器具の取付けかた

⊘ 必ず電源を切ってください。（一部姿図を省略しております。）

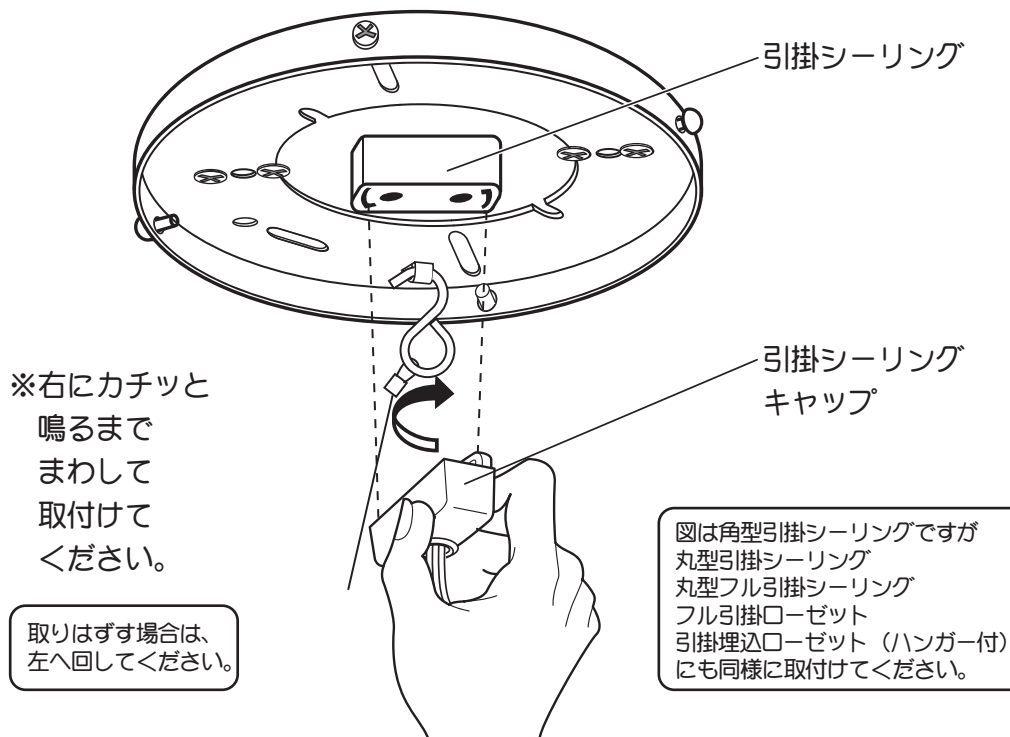
6 引掛シーリングに引掛シーリング キャップを取付ける。



■電源回路（壁スイッチ等）に調光器が
接続されている配線器具に本器具を
接続しないでください。
（器具や調光器の故障や異常音の原因になります）

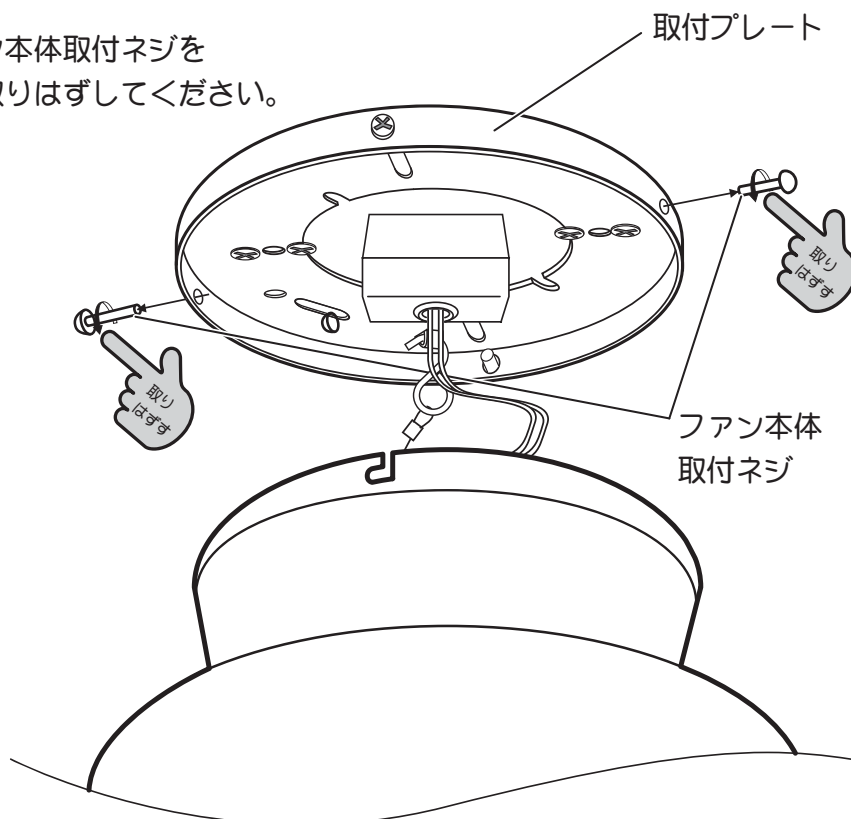


■電源回路（壁スイッチ等）に調光器が接続されている場合は
必ず調光器を交換してください。調光器の交換工事は工事店
電気店へ交換を依頼してください。
（一般の方の電気工事は法律で禁止されています。）



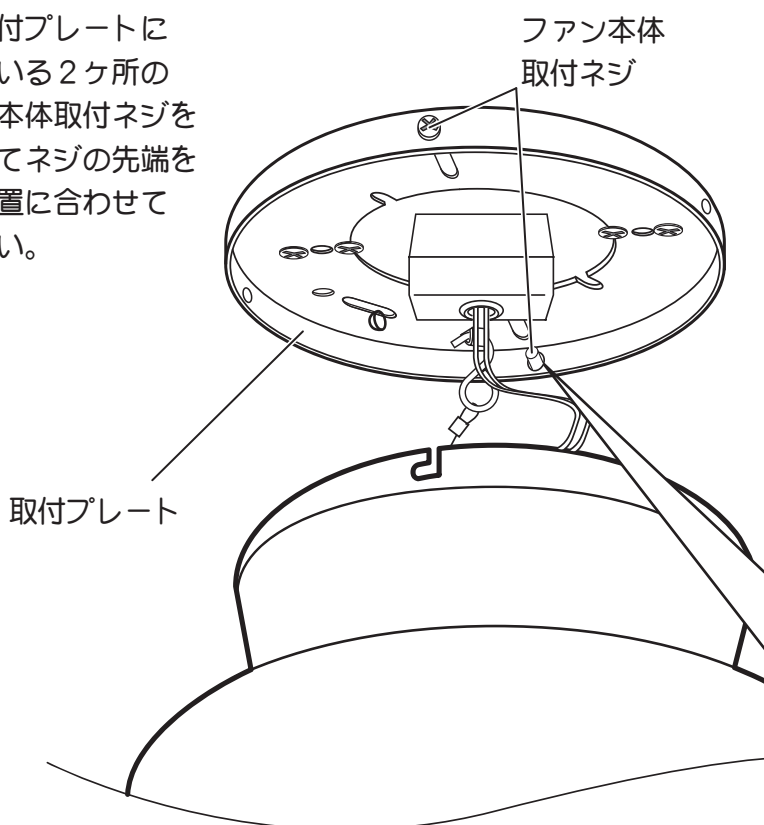
7 取付プレートからネジを取りはずす。

図の2ヶ所のファン本体取付ネジを
取付プレートから取りはずしてください。



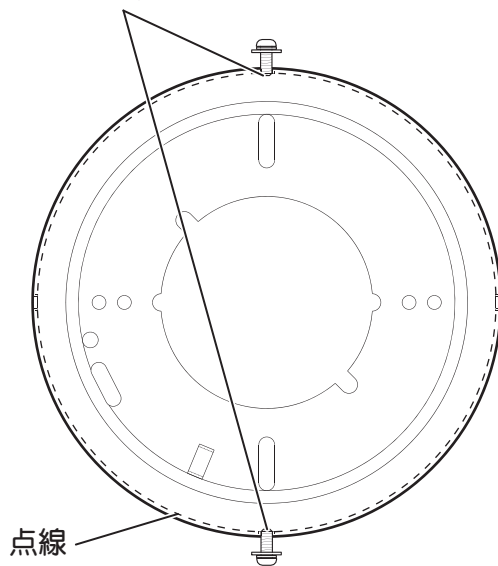
8 取付プレートのネジをゆるめる。

図の取付プレートについている2ヶ所のファン本体取付ネジをゆるめてネジの先端を図の位置に合わせてください。



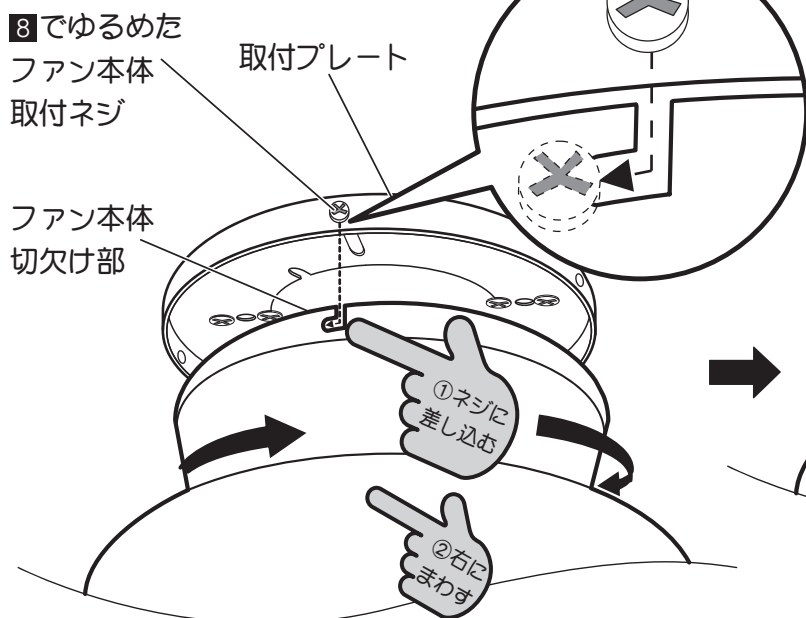
取付プレートを下側から見た図

取付プレート
取付ネジの先端

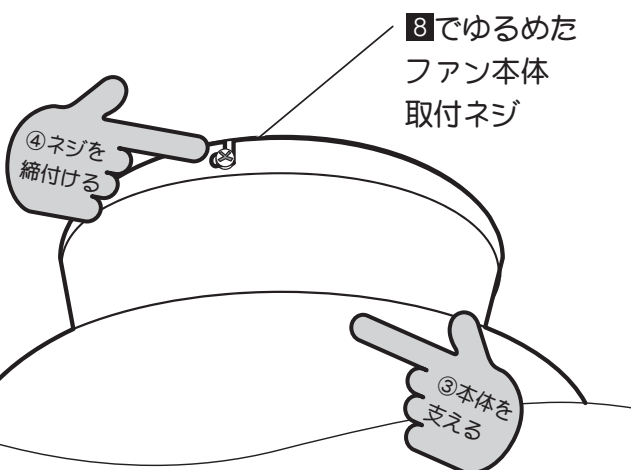


9 取付プレートのネジにファン本体を仮固定する。

ファン本体をしっかり支えながら
⑧でゆるめたファン本体取付ネジ2ヶ所に
図のようにファン本体切欠け部を
合わせてください。



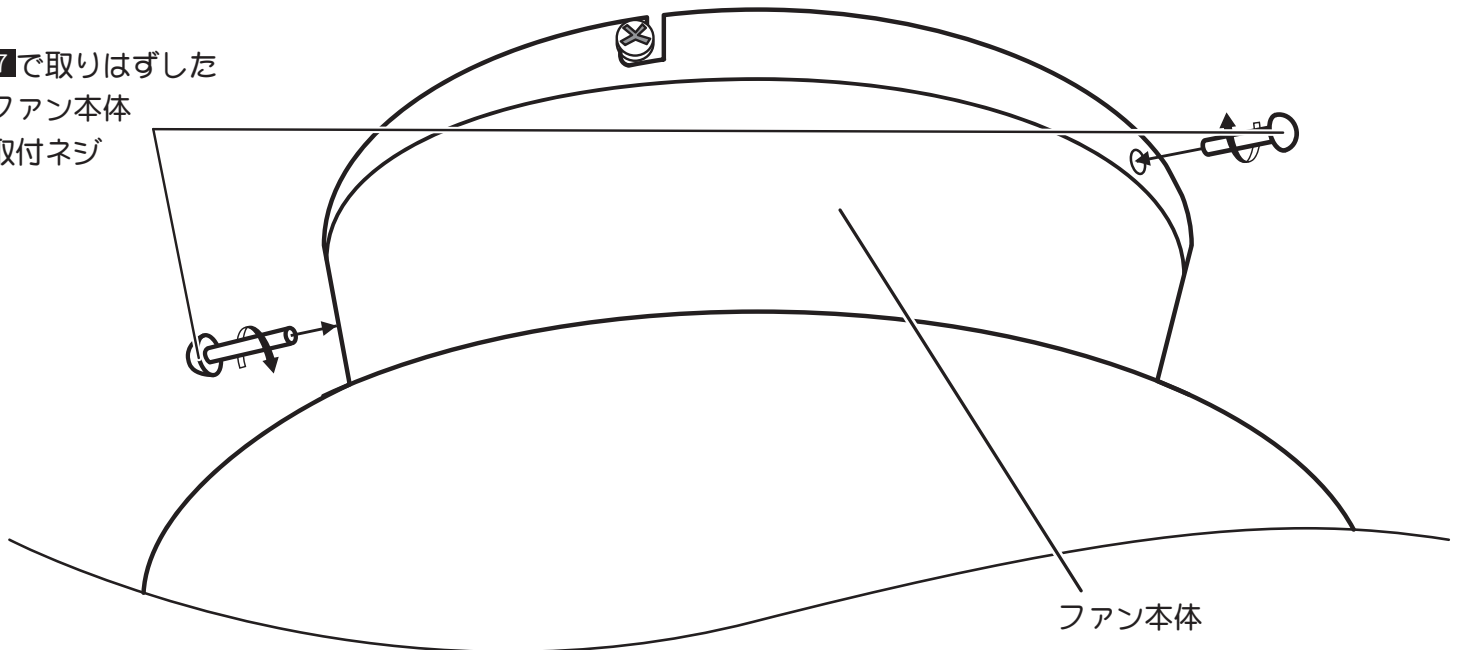
ファン本体をしっかり支えながら
⑧でゆるめたファン本体取付ネジ2ヶ所に
締付けてください。



10 取付プレートにファン本体を取付ける。

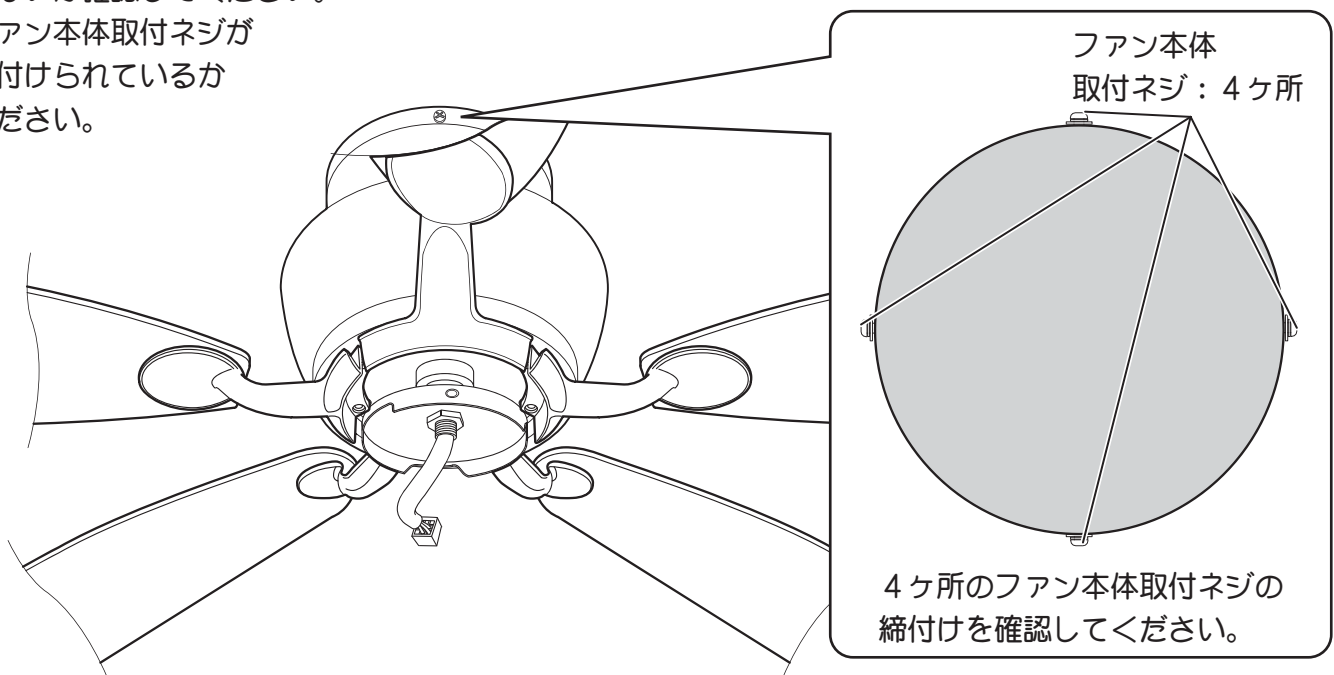
7で取りはずした2ヶ所のファン本体
取付ネジを締付けて
取付プレートにファン本体を
取付けてください。

7で取りはずした
ファン本体
取付ネジ



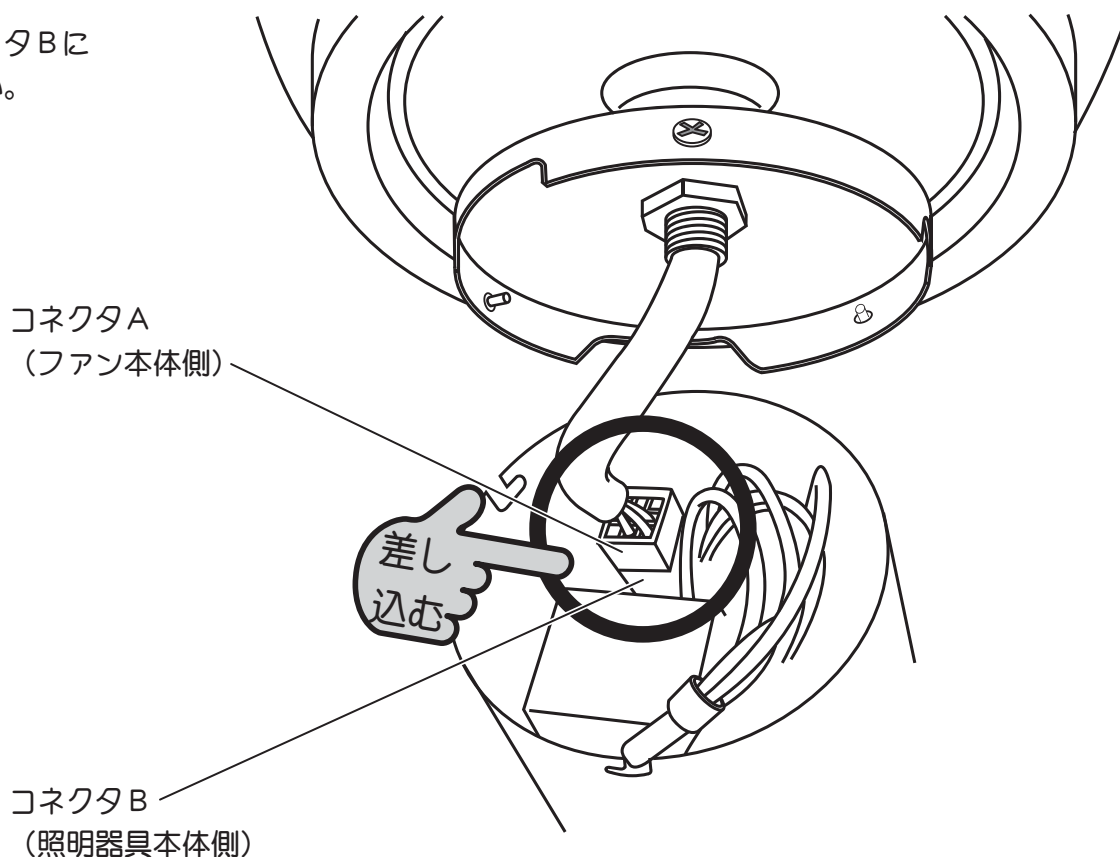
11 取付を確認する。

取付プレートと天井面の取付に
ガタツキがないか確認してください。
4ヶ所のファン本体取付ネジが
しっかり締付けられているか
確認してください。



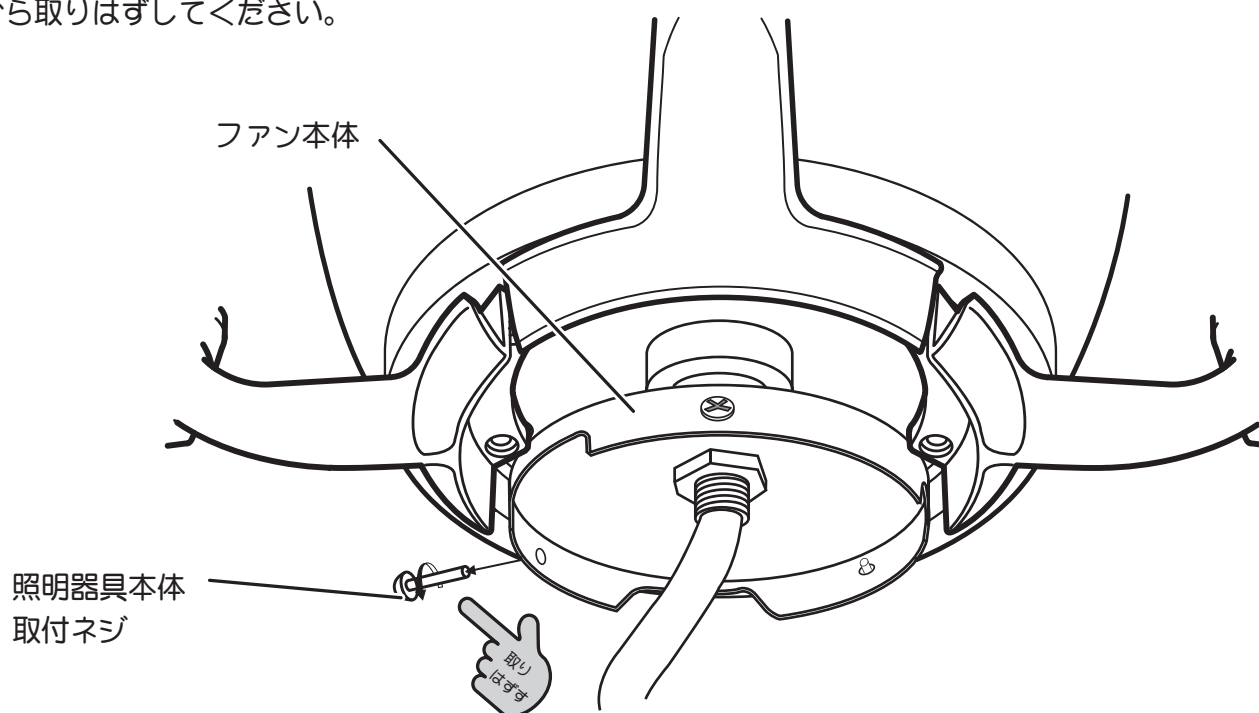
12 コネクタを接続する。

コネクタAをコネクタBに
差し込んでください。



13 ファン本体からネジを取りはずす。

図の照明器具本体取付ネジを
ファン本体から取りはずしてください。

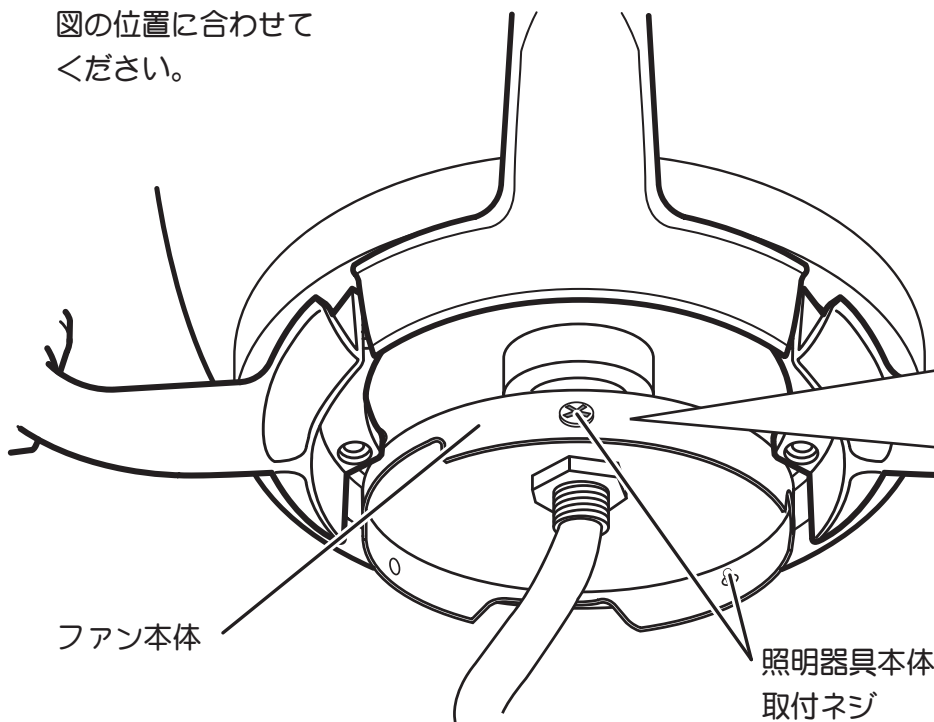


器具の取付けかた

⊗ 必ず電源を切ってください。（一部姿図を省略しております。）

14 ファン本体のネジをゆるめる。

図のファン本体についている2ヶ所の照明器具本体取付ネジをゆるめてネジの先端を図の位置に合わせてください。

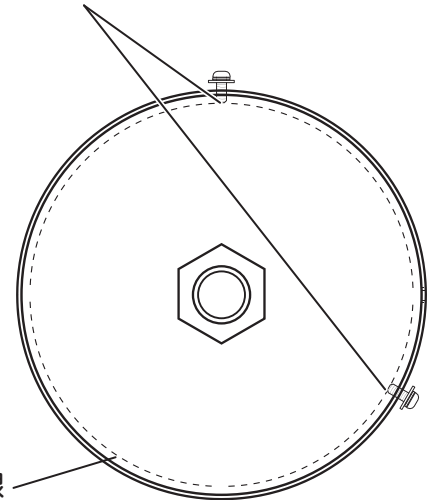


ファン本体を下側から見た図

照明器具本体
取付ネジの先端

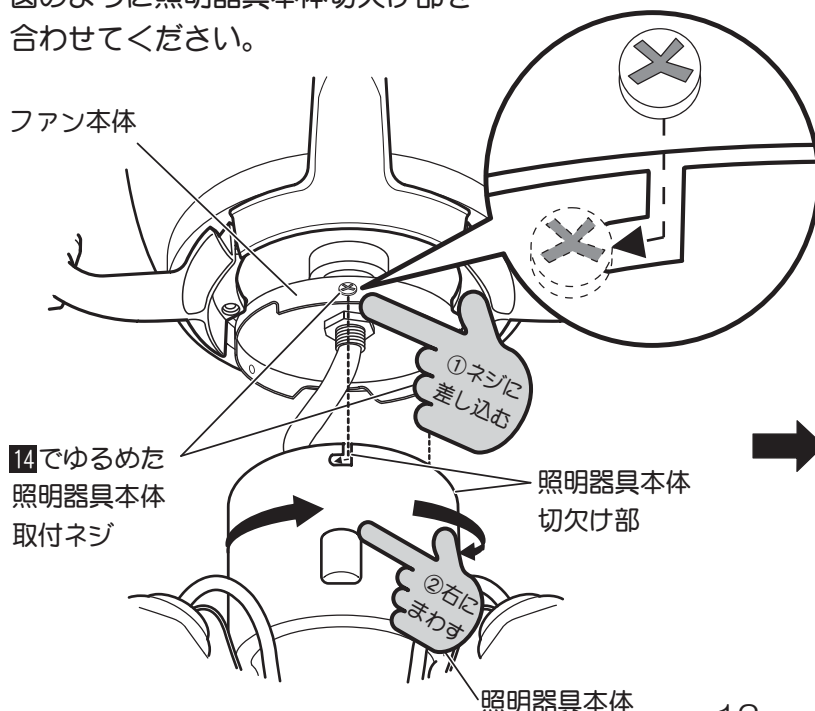
点線

2ヶ所の照明器具本体取付ネジの先端を点線の位置に合わせてください。

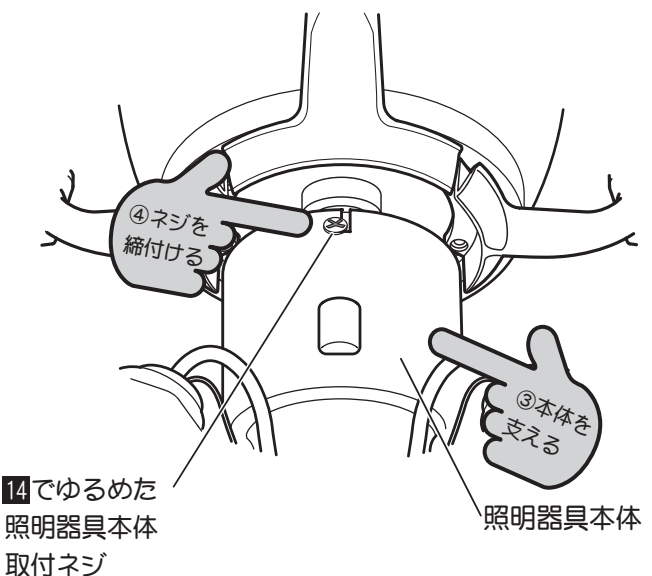


15 ファン本体のネジに照明器具本体を仮固定する。

照明器具本体をしっかり支えながら
14でゆるめた照明器具本体取付ネジ2ヶ所に
図のように照明器具本体切欠け部を
合わせてください。



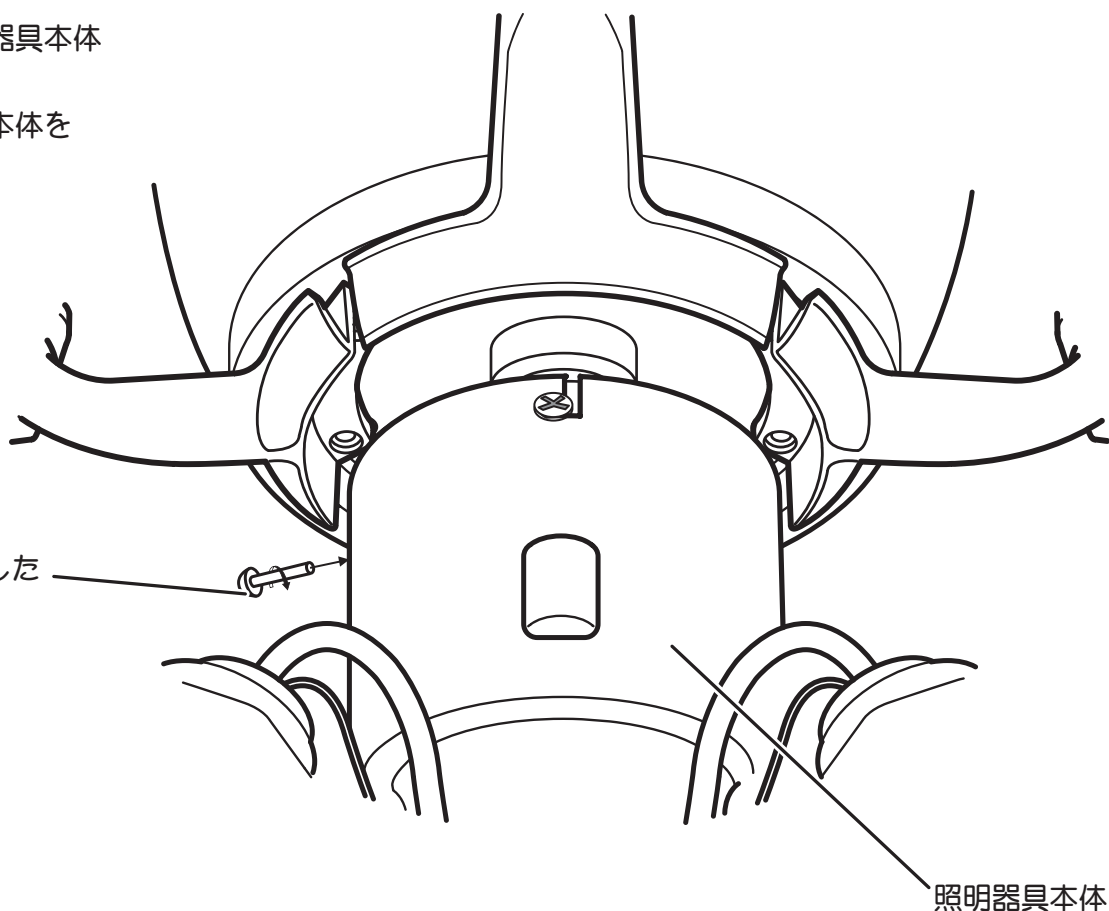
照明器具本体をしっかり支えながら
14でゆるめた照明器具本体取付ネジ2ヶ所を
締付けてください。



16 ファン本体に照明器具本体を取付ける。

13で取りはずした照明器具本体
取付ネジを締付けて
ファン本体に照明器具本体を
取付けてください。

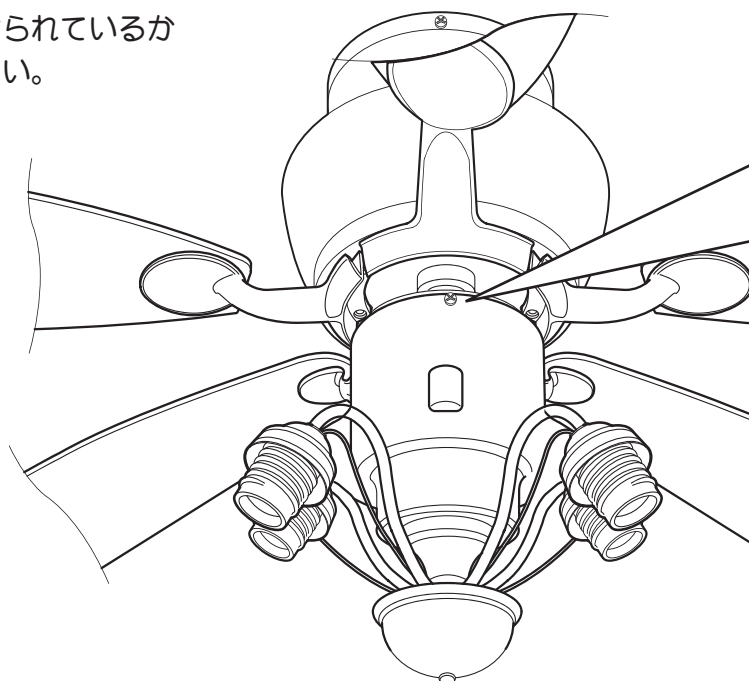
13で取りはずした
照明器具本体
取付ネジ



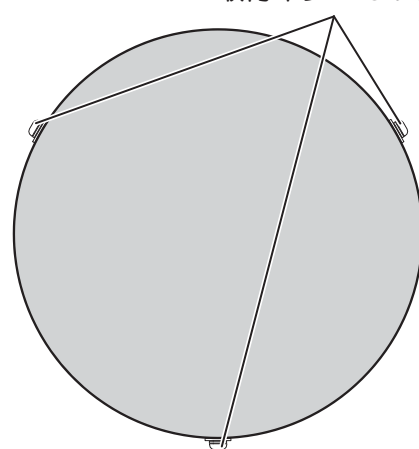
照明器具本体

17 取付を確認する。

照明器具本体とファン本体の取付に
ガタツキがないか確認してください。
3ヶ所の照明器具本体取付ネジが
しっかり締付けられているか
確認してください。



照明器具本体
取付ネジ：3ヶ所



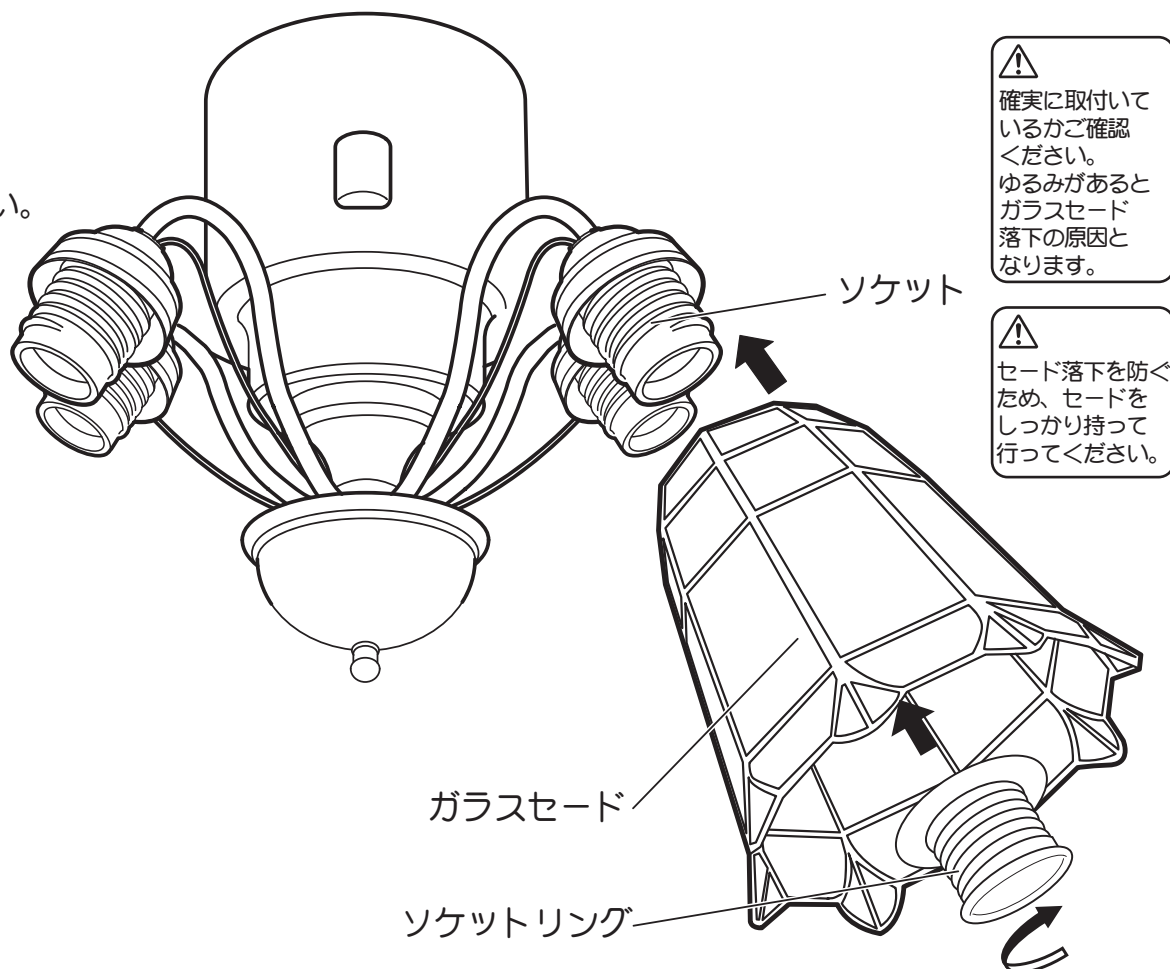
3ヶ所の照明器具本体取付ネジの
締付けを確認してください。

器具の取付けかた

⊘ 必ず電源を切ってください。（一部姿図を省略しております。）

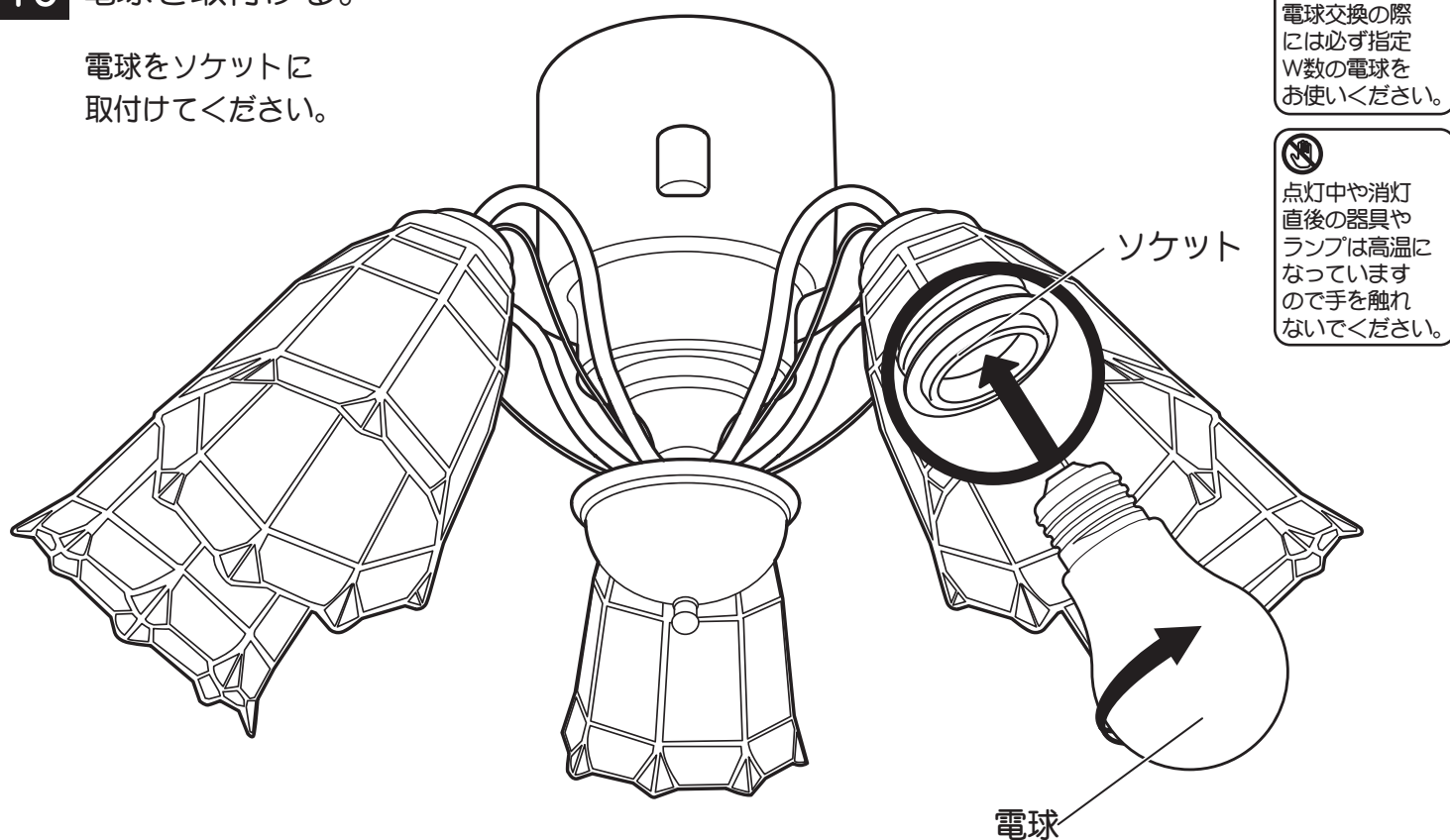
18 ガラスセードを取付ける。

ガラスセードを
ソケットに差し込み
ソケットリングで
締め付けてください。



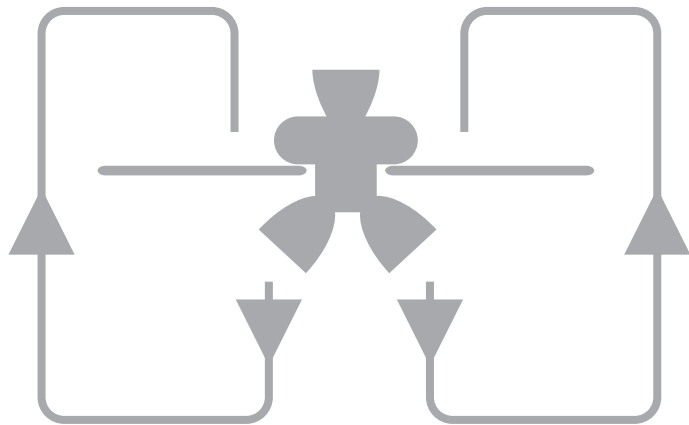
19 電球を取付ける。

電球をソケットに
取付けてください。

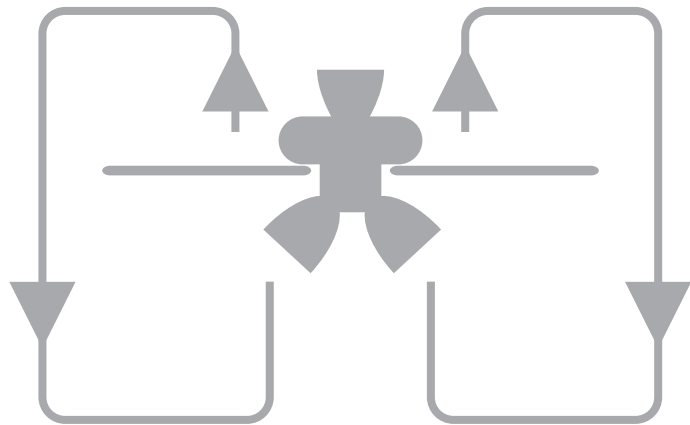


サーキュレーション効果について

このシーリングファンは羽根の回転方向を左回転・右回転に切替えることができます。シーリングファンを使用することで、お部屋の空気を効率良く循環させることができ、冷暖房時の効率を向上させ省エネにつながります。



冷房時
(左回転)



暖房時
(右回転)

故障かなと思ったら

現 象	考えられる原因	処 置
ランプが点灯しない	ランプの口金がソケットからはずれている	ランプをソケットに取付けてください
	ランプの寿命	ランプを交換してください
	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにしてください
	ブレーカーがOFFになっている	ブレーカーをONにしてください
本体の揺れが大きい 振動している	羽根が破損・変形している	すべての羽根を交換してください
リモコンで 操作できない	リモコンの電池の寿命	リモコンの電池を交換してください
	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れてください
	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにしてください
	ブレーカーがOFFになっている	ブレーカーをONにしてください

リモコン送信機の手取りいについて

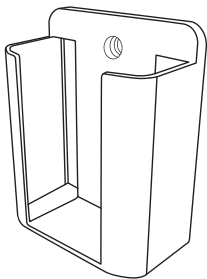
付属部品

リモコン製品には下図のリモコンユニットが
付属しておりますのでご確認ください。

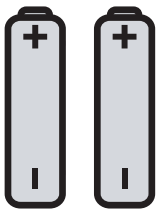
⚠ 部品の有無・損傷を確認してください。



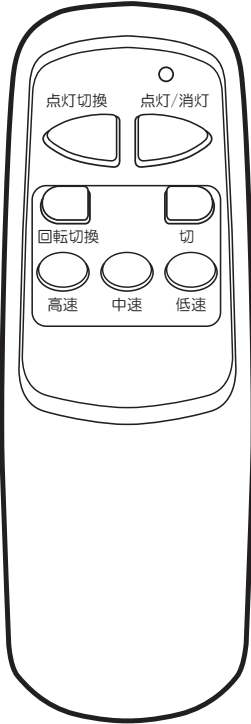
木ネジ 2本



リモコンケース



単三乾電池 2本

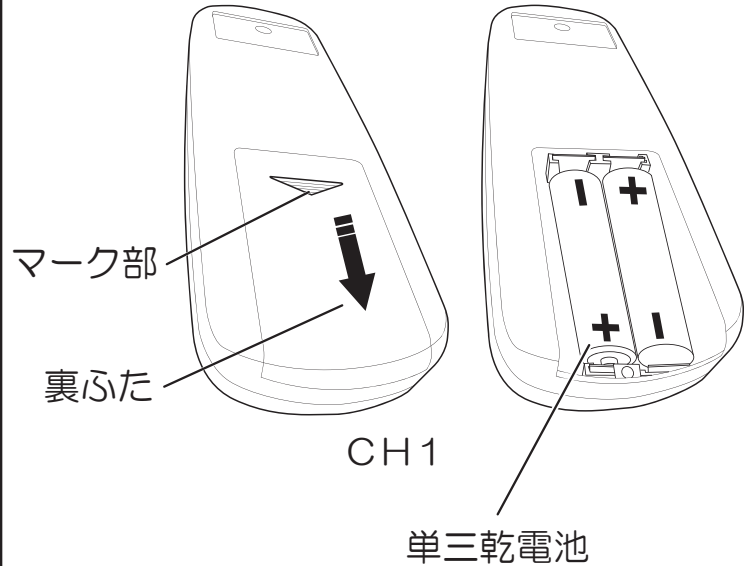


リモコン送信機

リモコン送信機の手取りい

①乾電池をリモコン送信機へ入れる。

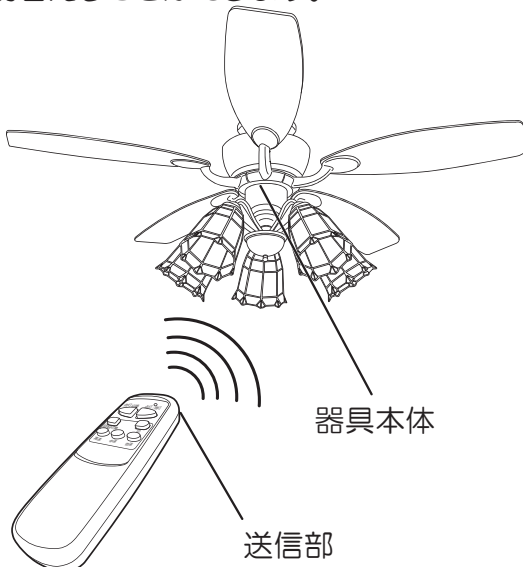
- ・裏ふたのマーク部を押しながら下へはずす。
- ・単三乾電池2本を+、-をよく確かめて入れる。
- ・裏ふたをしめる。



⚠ 電池交換の際は必ず2本共
交換してください。

②リモコン送信機を操作する。

- ・リモコン送信部を器具本体に向けて、お好みの
ボタンを押してください。お好みの点灯状態に
切替えることができます。



点灯切換ボタン

点灯状態を
5灯→3灯→2灯の
順番に切替える
ことができます



点灯/消灯ボタン

点灯/消灯を切替える
ことができます

ファン切ボタン

ファンの回転を
停止すること
ができます

ファン回転 速度切換ボタン

ファンの回転速度を
切替えること
ができます

ファン回転 方向切換ボタン

ファンの回転方向を
切替えること
ができます

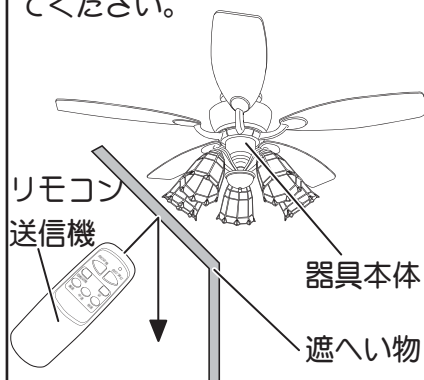


- ファンの回転方向を
切替える場合、
ファン速度切換ボタン
(高速、中速、低速)を
押した直後にファンの
回転方向切換ボタンを
押してください。
高速回転中の回転方向の
切替は、モーター故障の
原因になりますので絶対に
おやめください。
- この器具は、リモコンで消灯している場合、若干の電力を消費しています。
外出などで長期間お使用にならない場合は、壁スイッチをOFFにすること
をお勧めします。また、リモコンで消灯している場合、停電状態から復帰すると
全灯点灯状態になります。

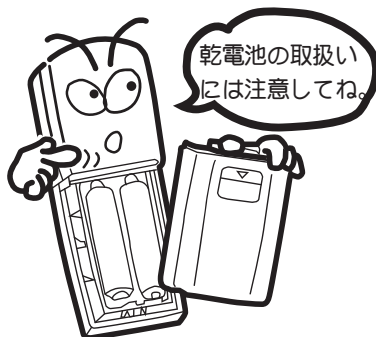
- 壁スイッチで電源を
切った場合、ランプ、
ファン共にOFF
状態になります。
壁スイッチで電源を
付けた場合、ランプは
全灯、ファンは停止
状態になります。
(OFF前の動作
状態はクリアされます)

リモコン送信機のご注意とお手入れについて

リモコン送信機と器具の間に遮へい物があると、リモコンが動作しない場合がありますのでその際は遮へい物を避けて操作してください。



長期にわたり、リモコン送信機を使用しない場合は、乾電池の液漏れが原因で故障する恐れがありますので必ず乾電池を取り出しておいてください。



乾電池は半年を目安に取替えてください。指定以外のものや新・旧の電池をまぜて使用しないでください。極性表示の通り＋、－を正しく入れてください。

送信機は落としたり、水をかけたり温度の高い所やストーブなどの近くに置かないで下さい。故障の原因となります。

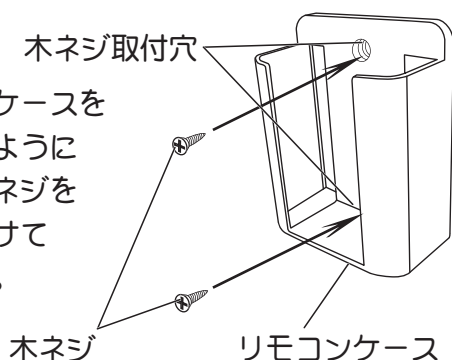
リモコン送信機の電池電圧が低下したり室温が低い場合は動作しにくいことがあります。

送信部は汚れますと動作しにくくなる場合がありますので汚れた時は乾いた柔らかい布で拭いてください。

リモコンケースの取扱いについて

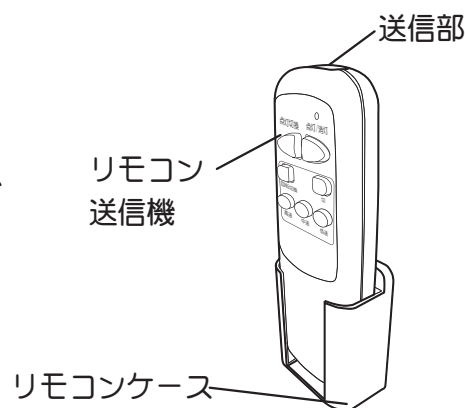
①リモコンケースを壁面などに取付ける。

付属のリモコンケースを壁面などに図のように押しあてて、木ネジをねじ込み、取付けてご使用ください。



②リモコン送信機をリモコンケースに収める。

リモコン送信機の送信部を上にして、リモコンケースに差し込んで収めてください。



タキズミ照明器具保証書

※保証書の記載内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

- 本書は、取扱説明書に記載されてある通りの正常な使用状態で、保証期間中に故障が発生した場合に、無償で修理させて頂く事をお約束するものです。万一、保証期間中に故障が発生した場合、本書と商品をご持参の上、お買上げ販売店もしくは当社に修理をご依頼ください。
 - お客様欄および販売店名の記載のないものは無効となりますのでご注意ください。また、本書は大切に保管しておいてください。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
 - ご転居の場合は、事前にお買上げの販売店にご相談ください。
 - ご贈答などで本書に記載してあるお買上げの販売店に修理が依頼できない場合にはお近くの当社営業所までご相談ください。
 - 保証期間は、製品お買上げ日より1年間です。ランプ・電池などの消耗品は対象外とさせていただきます。
- ※保証の例外 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

- 保証期間内であっても次のような場合は有償修理となります。
 1. 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 2. お買上げ後落下、輸送等による故障および損傷。
 3. 火災、天災地変（地震、台風、水害、落雷等）、塩害、ガス害、異常電圧による故障および破損。
 4. 一般家庭以外（業務用、船舶への取付等）にご使用の場合の故障および破損。
 5. ご使用による部品の汚れ。
 6. 消耗部品の交換（ランプ、電池、セード、リモコン等）
 7. 施工上の不備に起因する故障や不具合。
 8. 保証書および領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示がない場合。
- 補修用性能部品の最低保有期限
弊社は照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後最低6年間保有しています。（※セードなどの電気部品以外の部品は含まない）
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及び、その後の安全点検活動のために記載内容を利用して頂く場合がございますので、ご了承ください。

品番		TFR-6529	備考
保証期間		本体：1年間	
お買上げ年月日			
お客様	お名前		
	ご住所		
	お電話		
販売店名			

■ 定 格 C H 1

品 番	使用電圧	消費電力	周 波 数	使 用 電 球			器具質量
T F R - 6 5 2 9 【照明器具部】	1 0 0 V	3 0 0 W	50、60Hz共用	E - 2 6 普通球（ホワイト） 6 0 W × 5			約 9 . 5 k g
品 番	使用電圧	周 波 数	運転切換	消費電力	入力電流	回転数	
T F R - 6 5 2 9 【ファン部】	1 0 0 V	5 0 H z	高速	2 6 . 8 W	0 . 3 4 A	1 1 5 r p m	
			中速	1 6 . 7 W	0 . 3 5 A	8 8 r p m	
			低速	8 . 8 W	0 . 3 1 A	6 1 r p m	
		6 0 H z	高速	3 6 . 1 W	0 . 4 3 A	1 2 2 r p m	
			中速	2 1 . 2 W	0 . 4 5 A	9 2 r p m	
			低速	1 0 . 6 W	0 . 3 8 A	6 0 r p m	

※電圧や室温等の条件により若干の誤差が生じる場合があります。
※壁スイッチで電源を切った場合及び停電の場合は、リモコン送信機で操作しても作動しません。
壁スイッチがONでリモコン送信機で消灯した状態で停電がおこった場合は、停電復帰後は全灯状態になります。

注意  白熱ランプに交換する場合には
下記の内容を確認し使用してください。

■指定のランプ以外は使用しないでください。
◇間違った種類、ワット数のランプを使用すると器具の故障、
火災の原因になることがあります。 **注意** 

●火災の恐れあり
◇指定以外のランプ使用禁止

●やけどの恐れあり
◇点灯中や通電直後のランプや
その周辺にさわらないこと

●落下してケガの恐れあり
◇指定方向以外の取付け禁止
◇羽根、セードは確実に取付けること
◇回転している羽根に触れたり
線等を差し込まないこと



60 W
まで
口金 E 2 6 1 0 0 V

注意  電球形蛍光ランプに交換する場合には
下記の内容を確認し使用してください。

■指定のランプ以外は使用しないでください。
◇間違った種類、ワット数のランプを使用すると器具の故障、
火災の原因になることがあります。
◇種類が同じで光色の異なるランプとは互換性があります。

電球形蛍光灯
A形 E26
(15Wまで)

注意 

⚠ 器具の寿命と点検に関するご注意

- 一般に照明器具の寿命は8～10年とされています。 ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。（JIS C8105-1解説による。）
- 設置して8～10年経つと、外観に異常が無くても内部の劣化が進行しておりますので点検・交換をお勧めします。
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 点検せずに長期間使用されますとごくまれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

注意 

【製造年】2010年
【設計上の標準使用期間】6 年

設計上の標準使用期間を超えて使用した場合
経年劣化による発火、けがなどの事故に
至る恐れがあります。

設計標準使用期間

※標準的な使用条件（【I】表参照）の下で使用した場合に
経年劣化により安全上、支障なく使用することができるとして
科学的に確認または、判断された期間として設定されたものです。
※**無償の保証期間とは異なる**ものです。
※標準的な使用条件を超える使用頻度や、使用環境と異なる場合など
経年劣化を特に進める事情が在る場合、この期間よりも
早期に安全上支障を生ずる恐れが多くなります。

【I】表標準的な使用条件

大項目	中項目	小項目	
環境条件	電圧	100V	
	周波数	50Hz／60Hz	
	温度	30℃	
	湿度	相対湿度65%	
	設置条件		
負荷条件		定格負荷	
想定時間等	天井扇	1日あたりの使用時間	10（h／日）
		1日使用回数	5（h／日）
		1年間の使用日数	180（日／年）
		スイッチ操作回数	900（回／年）
		首振運転の割合	対象外

⚠ 長年ご使用の家庭製品にこんな症状が出ていませんか？

ご使用の家庭製品は、熱、湿気、ホコリなどの影響により
内部部品が劣化し、発煙、発火の恐れがあります。
ご使用中に次のような症状がみられる場合は
電源スイッチを切り、お買い上げの販売店または
メーカーにご相談ください。

①スイッチを入れても、ファンが回らない。
②ファンが回っても、異常に回転が遅かったり不規則。
③回転するときに異常な音や振動がする。
④モーター部分が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがする。
⑤器具部分に触れると、ファンが回ったり、回らなかったりと不安定。

■ 商品とお取扱方法については・・・

瀧住電機工業株式会社 本社・大阪／〒546-0035 大阪市東住吉区山坂2丁目21番16号
TEL.06-6628-1601(代表) FAX.06-6628-1609

「お客様相談室」  **0120-226-544**

受付時間/月～金（土、日、祝日、年末年始を除く） 9：00～12：00（午前）13：00～17：00（午後）

-18-